



明けましておめでとうございます。枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、寒さに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。

～別府小・別府中 小中連携研究公開～ オープニングで「ヤンセ踊り」の披露 「カツオー一本釣り漁」のリモートインタビュー

別府小・別府中の小中連携研究公開が11月24日に別府中学校であり、公開授業や分科会などが行われました。



オープニングでは「駒水ヤンセ踊り」の披露があり、今年度ヤンセ踊りを学習した別府小6年生と、昨年度学習した別府中1年生が、合同で迫力のある踊りを披露しました。

公開授業では、別府小5年生の社会科の「水産業のさかんな地域」の授業があり、枕崎市の「カツオー一本釣り漁」を取り上げて、一本釣り漁の様子をビデオで見た後、旭漁業の末野修市さんにリモートでインタビューを行いました。

末野さんからは「一本釣り漁の時にはカツオが良く釣れるように船から海に水を撒く」「巻き網漁で獲れたカツオは鯉節などの加工用になるが、一本釣り漁で獲れたカツオは品質が良いので刺身などの生食用になり、価格も高く売れる」などの説明がありました。

子供たちは「カツオー一本釣り漁の工夫や努力」を学習することができ、末野さんも「小学校の授業でカツオー一本釣り漁を取り上げてもらってありがたい」と感激していました。



枕崎小学校では、11月19日と12月10日に2年生の算数の授業で、「かけ算九九の暗唱」を地域のボランティアの方がお手伝いしました。

～九九の暗唱をボランティアがお手伝い～ 枕崎小学校

かけ算九九を覚えるのは、小学2年生のメインイベントと言える学習です。「かけ算がんばりカード」を使って、一の段から九の段まで覚えられているかをチェックします。



今年は枕崎校区の老人クラブの方々が、学校に2回来てチェックしてくれました。ストップウォッチを片手に、子供たちが九九を暗唱するのを聞いて、9秒以内に言えたら合格のハンコを押します。

子供たちは何度も九九を聞いてもらいながら、全部の段に合格のハンコを貰えるように頑張っていました。



別府中学校では12月15日に2年生の道徳の授業で、学校応援団ボランティアとして活動している駒水政則さんの講話がありました。

～道徳の授業で ボランティアについての講話～ 別府中学校

駒水さんは別府中の卒業生で、何十年も前から別府中の樹木伐採や草払い、害虫駆除などをしていただいております。12月11日の駅伝大会の時に、保護者、生徒、教職員を前にして、別府中PTAが感謝状の贈呈を行い、学校全体で感謝の気持ちを伝えました。



道徳の授業では、駒水さんが学校応援団以外にも「献血の啓発活動」や「ふるさとの道サポーター」などのボランティア活動をしてきたこと、なぜ学校のためにボランティア活動をしているのかなどの説明がありました。

熱い語り口で、「ボランティア活動をすることで心が弾み、剪定をした時なども『次はこれをしてほしい』と頭の中に浮かんでくる」などの話をしてくださいました。

子供たちからの質問にも丁寧に答えてくれて、心に沁みる道徳の時間になりました。

～自分たちで育てた米で地域の方々と一緒に「餅つき」～ 桜山小学校

桜山小学校では、12月16日に5年生の総合の授業で、桜山校区の老人クラブの方々と一緒に「餅つき」を行いました。学校の学習田で、5年生が4月に田植えをして、8月に稲刈りをした餅米を14キロ使った餅つきでした。

米作りを指導してくれた山崎巳代治さんが年代物の木の臼（うす）と杵（きね）を準備して、子供たちも交代で餅つきをしました。ついた餅は老人クラブの女性陣の指導であんこ入りの餅に仕上げました。

自分たちで育てた米で、自分たちでついたお餅は、最高のごちそうになりました。



「わくわく科学教室 in 枕崎」が11月20日に枕崎市市民会館で行われ、小中学生と保護者約200人が参加して科学実験や工作の体験を楽しみました。

～6つのブースで科学実験と工作体験～ わくわく科学教室 in 枕崎

枕崎市内の小中高校の理科の教員でつくる「枕崎の理科を語る会」が主催したもので、子供たちが身近な自然や科学への興味・関心を高めるようにと、今年初めて行われました。



「備長炭で電池を作ろう」のブース
備長炭を直列に2本つないでモーターを回しています

子供たちは「スライムづくり」「水がこぼれないコップ」「ペットボトルの空気泡づくり」などのブースを、目をキラキラさせながら楽しそうに回っていました。子供たちからは「学校の理科の学習以外のことを知ることができた」「不思議な体験や貴重な経験だった」「これからは科学教室が続けばいいなと思った」などの感想がありました。

わくわく科学教室で、理科好きの子供が増えたようです。